

## 経営改善部門

静岡県川根本町 農事組合法人川根美味しいたけ  
(代表理事：西原 にしはら 睦実 むつみ 氏)



○ 経営規模：9.4ha（茶9.0ha、菌床しいたけ0.4ha）

（注）数字は令和元年当時のもの

## 経営展開のポイント

- 昭和59年から荒茶製造に取り組み、昭和63年に川根地区の7名が茶工場を建設。一度地元を離れ戻った後、平成20年に農業法人を設立し、菌床及びしいたけの生産を導入。
- 菌床は県内23戸のしいたけ生産農家のほか、県外の生産農家にも販売。また、しいたけやキクラゲ等10種類を室温22℃に保ち約90日栽培し、地元のほか、中京圏、関西圏にも出荷。
- 茶は荒茶として製造しJAや地元の茶商約30社に販売。また、実需者ニーズに対応し、煎茶（浅蒸し、深蒸し）、被覆茶、玉緑茶などを生産し、一部は茶商を通じペットボトル用に出荷するとともに台湾に輸出。
- 茶製造部門において、重要な製造工程の一部は従業員を専従化することにより、荒茶品質の均一化、高品質化を実現。  
一方、しいたけは、各雇用者の経験の差が品質に左右されないよう仕事の内容を細かくマニュアル化し作業を標準化。
- 狭小で茶の植え付け方向が統一されていない茶園を再編・整備するため、農地中間管理機構関連農地整備事業に着手したところであり、作業の効率化をめざす。
- 高品質の菌床を基盤として、菌床及びしいたけの生産が順調に伸びており、荒茶生産との複合経営による周年作業、周年雇用が可能となり安定した収益を確保している点がポイント。